

# ちから スポーツの力 ～する・みる・ささえる～

## 伊賀市スポーツ大会出場者に対する 奨励金と表敬訪問

### ◆伊賀市スポーツ大会出場者に対する奨励金

スポーツ活動の振興を図るため、各種スポーツの全国大会や国際大会に出場する市民の栄誉を称え、個人または団体に対し奨励金を交付しています。



詳細はこちら

### ◆表敬訪問

また、出場者で希望する人の表敬訪問の受け入れを行っています。今年も数多くの選手やチームが訪れています。日頃の活動や大会への抱負、結果報告、スポーツの魅力などを話題に市長とお話いただけます。(写真は今年度の表敬訪問の様子)

【問い合わせ】 スポーツ振興課 ☎ 22-9635 FAX 22-9694 ✉ sports@city.iga.lg.jp



## 明日に向かって ～差別をなくしていくために～

### 平和と人権

### ～下水道課～

人権について考えるコラムです。

令和4年2月24日、ロシアによる「特別軍事作戦」と称するウクライナ侵攻が始まりました。

ロシアの侵攻は一方的で武力侵略以外の何物でもなく、市街地やインフラを無差別に攻撃し、軍人だけでなく民間人にも数多くの犠牲者を出しています。これはロシアによる明らかな国際人道法・人権法の違反行為です。病院や学校といった保護対象施設への攻撃のニュースを目にしたときは言葉もありませんでした。

島国に住む人の目には、このロシアによる行為はどのように映っているのでしょうか。陸続きで国境を接している国に住むという実感がないうえ、対岸の火事のように映っている人も、中にはいるのかもしれない。

平和の破壊によって最も影響を受けるのはいつでも弱者であり、それは個人を意味します。世界人権

宣言において「人権の保障が自由、正義及び平和の基礎である」と記されているように、人権が守られているからこそ平和な社会を築くことができます。日本国憲法でも、「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する」とあるように、全世界の人々が平和の中で生きていく権利があります。

ウクライナ侵攻はいかなる理由があろうとも決して認められないこと、そして改めて平和と人権について一人ひとりが考えることが重要ではないでしょうか。

市では、人道支援と国際平和を願い、救援金の受付のほか、伊賀上野城をウクライナの国旗を構成する青と黄でライトアップしています。私自身も「平和とは何なのか」について今一度考えてみようと思います。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9641 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ



伊賀国庁跡整備イメージ図

坂之下に所在する国史跡伊賀国庁跡は、遺構の保存を図りつつ、史跡公園としての整備を進めています。本工事では遺構表示ゾーンとエントランスゾーンの一部(約7700㎡)を整備しています。伊賀国庁跡は、平成3(1991)年に行われた三重県埋蔵文化財センターの発掘調査で見つけられました。調査の結果、伊賀国庁跡の存続時期は、①奈良時代末から平安時代前期、②平安時代前期、③平安時代中期、④平安時代後期の4期に分けられると考えられています。整備工事は、建物の配置の様子が最もよくわかっている「②平安時代前期」の遺構の配置を示したかたちで進めています。

平安時代前期の伊賀国庁は、主な建物が一辺40m強の掘立柱の板塀に囲まれていたと考えられています。この塀で区切られた範囲の中に「正殿」と呼ばれる国の政務に関わる諸儀式が行われる中心建物、役人が政務を行う建物である「前殿」「脇殿」が配置されています。また南側の塀の中央部には南門が設置されていた。これらの主要建物は掘立柱建物です。掘立柱建物とは地面を掘って柱を立て、建物を建てる方法です。整備では、コンクリートの擬木を用いて掘立柱を表現し、発掘調査で見つかった柱の位置に設置します。また、当時の建築の基準となる長さの単位は「一尺」(一尺≒約30cm)であるため、柱の間隔や建物規模について完数尺を用いて復元表示します。伊賀国庁跡を訪れた人が文化財に親しみ、その価値や魅力について理解を深めていただく拠点となるよう、整備を進めていきます。

文化財課  
☎ 22・9678 FAX 22・9667



今後の整備予定箇所

## IGAMONO セレクション No.33

【問い合わせ】 商工労働課 ☎ 22-9669 FAX 22-9695

一番のおすすめの召し上がり方は、たまごかけご飯。ひと手間をかけて、黄身と白身に分けて、黄身だけで食べていただくと、より濃密で旨い味わいをお楽しみいただけます。白身も弾力があって美味しいので、少し箸で泡立ててご飯にかけていただくと、とろろご飯のような優しい味わいを楽しめます。また、味が自慢の卵ですので、定番の玉子焼き、茶碗蒸し、プリンなどのさまざまな卵料理も、普段のレシピでワンランク上の自慢したくなる一品に大変身。どんなメニューでも、万能にお使いいただけるたまごです。



伊賀忍者たまご



株式会社岡本養鶏場の皆さん

昭和43年から伊賀の地で採卵養鶏場を営んでいます。美味しい卵を作るために必要不可欠な美味しい水をたくわえてくれる霊山の恩恵を受けて、この地で創業することができました。生産した卵は、JA直売所「ひぞっこ」へ出荷しています。また、鶏ふんも

地元農家の皆さんにご愛用いただき、美味しい作物ができると好評です。自然豊かな伊賀の地で、美味しい卵を作ることができる喜びに感謝して、日々頑張っています。

